

4月1日から変わります
働く女性の家・勤労青少年ホームの使用料金

働く女性の家(今津町今津)と勤労青少年ホーム(安曇川町田中)の使用料金を、市内の公民館等の社会教育施設の使用料金と同様の負担となるよう改正し、4月1日から適用します。各施設の使用負担の公平を図るため、ご理解をお願いいたします。

なお、使用目的などによっては減免措置が受けられる場合がありますのでご相談ください。

- 商工観光課
高島市働く女性の家 電話(25)8514
高島市勤労青少年ホーム 電話(22)5775
電話(32)2812

〈使用料単価〉

施設名	部屋名	1時間あたり使用料
働く女性の家	軽運動室	600円
	調理実習室	400円
	研修室	300円
	講習室	300円
	多目的ルーム	200円
勤労青少年ホーム	軽運動場	500円
	調理実習室	300円
	講習室	300円
	音楽室	200円
	第1・第2集会室	300円

(注) 冷暖房を使用される場合は、上記金額の5割額を加算します。

防災備蓄用飲料水があります

琵琶湖西岸断層帯による地震の発生が懸念されるなか、「少しでも地域の皆様の手助けになれば」とこのたび、安曇川町のタカギ・フーズ株式会社が、防災備蓄用のペットボトル飲料水(2ℓ)500本をご恵贈いただきました。

あたたかいご支援、誠にありがとうございます。
(総合防災課)



病院の基本情報は携帯電話が便利!!

公立高島総合病院では、今年1月から携帯サイトを開設し、次の情報を掲載しています。



- お知らせ
- 外来案内
- 予約電話について
- 救急外来
- 入院案内
- 職員募集
- 交通アクセス

◎ こんなときは「携帯サイト」へ ▶▶▶

- Q. 家族が急に入院することになったけど、何を準備したらいいの?
A. 入院案内のページで身の周りのものなど必要最低限準備していただくものを紹介しています。
- Q. 出先から診察の電話予約をしたいけど?
A. 予約電話のページから直接電話発信ができます。

◎ 携帯サイトのご利用方法 ▶▶▶

【QRコード対応の場合】

- ① ご利用の携帯電話でQRコード(2次元バーコード)を読み取るためのバーコードリーダーを起動してください。
- ② QRコードを読み取ります。
- ③ 読み取りに成功すると、当院携帯サイトのURLが表示されます。
- ④ 表示されたURLより公立高島総合病院携帯サイトへアクセスしてください。



QRコード

【QRコード非対応の場合】

携帯電話のメニューの中からインターネットへ接続する(URL入力)の項目を選択し、公立高島総合病院携帯サイトのURLを入力して接続してください。

<http://www.10.ocn.ne.jp/~takasima/mobile.htm>

※携帯電話の機種によっては、読み取り方が異なる場合がありますので、詳しくはご使用されている携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

市長日記



サブライズがありました。マニラの高級住宅地の丘の上にあるアメリカ人墓地にバスは立ち寄ったのです。映画のシーンのように17,000余大理石の十字架が整然と並び、遺体を収容できなかった35,000余兵士は、大きな大理石の回廊に名前が刻まれ、南太平洋で戦死した全ての米軍アメリカ人戦没者がここに眠るのです。

今年はずゼンソウも戸惑うような気候ですね。地域の自然を長年研究し紹介されている松見先生らのご努力でゼンソウ研究の素晴らしき本ができました。

また、新しい春は春蘭展が運んで来られる気がします。滋賀県でも今津東コミセンだけでそう、品のよい小さな鉢に高貴な香りを漂わせ、可憐な花をつけた春蘭が何十鉢も陳列されます。「高島の春蘭」市民の皆さん是非ともご覧あれ。

さて、2月中旬に県遺族会主催のフィリピン戦跡巡拝に参加しました。マニラ東部の山中、ワフ深谷が最初の訪問地でした。水源をめぐる激戦地です。遺児の方が次々と「お父さん。来ました」と万感の思いを込めて呼びかけられ、語られるのです。60年を貫くお父さんへの想いを知りました。椰子の木が生い茂る灼熱の地で、米軍と戦ったことしか祖国と家族を守る道がないとされた苦悩は如何ばかりでしょう。水が無い、食べ物が無いなかでの戦闘は、日に日に絶望的な状況を強めていったに違いありません。

殆どの遺児がお父さんの記憶がありません。「名前をつけてもらったことが、何よりの慰めです」と仰る方がありました。子ども頃から「お父さん」という言葉を使う必要がなく、お父さんのいる子より踏み張り、頑張ることを自分に課してこられたのです。

「私は連れ合いを28(歳)のとき戦争で亡くしました。ニューギニアです」かつての若嫁さんは90歳を越えます。高島市の戦没者2400柱のご家族の心情を思うようになりました。カリラヤの合同慰霊祭では最後に「琵琶湖周航の歌」を捧げました。

「アメリカって流石やなあ」とある遺族が洩らし、残念ながら皆頷きました。遺族が遺骨収集や戦没者慰霊を続けられるのは、ここなんだと分かりました。戦勝国か否かではなく、国家権力で行ったことに対する責任の取り方、従い殉じた個人の尊厳を守ろうとする意思の違いです。「今の日本なら出来るはず」との声には同感です。

ゆとり教育の見直しがテーマの日本ですが、フィリピンの田舎の小学校を訪ねたら、1年生171人が2交代で午前・午後に分かれ授業をしているとのこと。歓迎の歌は5曲とも英語でした。インドや中国を筆頭にもつすごい教育成果が報道されます。IT社会と英語圏の拡大は避けられませんし、民間調査では小学校における外国語教育の実施と国語の読解力向上は比例するとの報告です。何れにせよ自分で調べ判断できる力を養うことが重要です。

高島版「よく遊び、よく学べ」は、自然と遊び友達と遊ぶこと、家族に学び地域に学ぶことを大切にしながら、過去と未来の前後100年の大計にたって考えていきたいと思います。 海東英和 拝



「世代をつなぐ今昔カルタ」
地域と小学校と大学の地元学び



● 古写真でふるさと探し

昭和初期に撮影された写真をもとに、今の暮らしや街並みとを比較し、自分たちの地域がどんな「歩み」をしてきたかを地域の人たちと共に探り、理解する活動が、マキノ東小学校5年生と地域の人びと、そして京都精華大学の学生たちの間で取り組まれています。これはかつての人びとの暮らしが、街並みを写真に納めてこられた旧三羊館の古写真(現在は寄贈され市に所蔵)を活用して、同年の総合的な学習の時間を利用して行われているものです。

● 世代をつなぐ今昔カルタ

「マキノ今昔カルタ」海津編2006」子どもたちが地域のお年寄りの方から聞いた話を参考に、古い写真と今の風景を照らし合わせ、カルタの読み札を作成しました。子どもたちが、生まれる遙か昔の写真を通して、自分たちの住んでいるまちが歴史のあるまちであることを知り、地域の姿や歩みからふるさとへの興味と、自分たちとの関わりを考えるきっかけになったことと思います。また併せて、地域の人たちへのインタビューなどを通して、親や先生とは違う世代の方々との情報交換や交流を図るなど、子どもたちにとって多くの収穫を得ることになったと思われます。同時に、地域の人たちも地域を見つめ直すきっかけを子どもたちから与えられたのではないのでしょうか。2月16日には、そのカルタを使った交流会が開催され、今昔カルタを囲んで地域の人たちと子どもたち、大学生たちの暖かい笑顔の環が広がりました。



② 子どもたち 魚を求め 手をのばす